

令和5年度

事業計画書

一般財団法人 岩手済生医会

令和5年度 事業計画

1. 法人の概要

- (1) 名称 一般財団法人 岩手済生医会
- (2) 所在地 岩手県盛岡市長田町24番7号
- (3) 法人の設立年月日 大正9年5月15日（平成24年4月1日 一般財団法人へ移行）
- (4) 役員及び評議員 （令和5年4月1日現在）

職名	氏名	職名	氏名
理事長	三田ひろみ	評議員	酒井明夫
理事	三田光男	評議員	佐々木和彦
理事	三田義之	評議員	白井康雄
理事	渡辺正和	評議員	三浦・行
理事	大塚耕太郎	評議員	長山洋
理事	及川吏智子		
監事	攝待幸子		
監事	高橋俊雄		

2. 法人が設置する事業

- (1) 岩手看護専門学校（看護師養成 明治30年4月開設）
本科 1学年定員40名 3年課程
所在地 盛岡市長田町24番7号
- (2) 岩手リハビリテーション学院（理学療法士・作業療法士養成 昭和55年4月開設）
理学療法学科 1学年定員40名 4年課程
作業療法学科 1学年定員35名 4年課程
所在地 盛岡市長田町15番16号
- (3) 中津川病院（内科系病院 昭和6年10月「岩手サナトリウム」開設、昭和61年11月名称変更）
病床数 51床（うち地域包括ケア病床22床）
所在地 盛岡市下米内二丁目4番12号
- (4) 訪問看護ステーションなかつがわ（平成29年11月開設）
所在地 盛岡市下米内二丁目4番12号
- (5) 居宅介護支援事業所なかつがわ（令和2年6月開設）
所在地 盛岡市下米内二丁目4番12号
- (6) 三田記念病院（精神科病院 昭和8年6月「岩手保養院」開設、平成24年4月名称変更）
病床数 277床（急性期病床51床、認知症病床54床、精神一般病床172床）
所在地 盛岡市加賀野三丁目14番1号
- (7) こころの訪問看護ステーション三田（平成30年4月開設）
所在地 盛岡市志家町13番31号
- (8) 加賀野の里（精神障害者グループホーム 平成14年3月開設）
入所定員 20名
所在地 盛岡市加賀野三丁目14番10号

3. 各施設の事業の概要

(1) 法人本部事務局

大きな影響を受けている新型コロナウイルス感染症（以下コロナ）の感染症法における分類が変更される予定となっており、政策の変化に柔軟に対応し、継続して感染拡大防止に取り組むとともに、各施設の施策促進により収支改善を目指す。

また、令和2年から実施している「働き方改革」と令和4年に改正された「育児・介護休業法」等を推進し、働き易く、男女とも仕事と育児・介護が両立できる職場環境を実現する。

以下、主要各施設の令和5年度の事業計画について法人本部として支援する。

【岩手看護専門学校について】

- ・入学生の定員確保に努めるとともに学校運営方法（学納金改訂も含む）の検討
- ・老朽化する校舎の整備計画等、中・長期計画の策定

【岩手リハビリテーション学院について】

- ・4年制専門学校の完成年度による指定規則の改正と、4年制カリキュラムに対応するための年次計画に基づいた実習用機器の導入等教育環境の整備
- ・経年劣化による校舎外壁改修等による施設環境の整備

【中津川病院について】

- ・地域包括ケア病床の有効活用により、在宅復帰率を高め効率的な訪問診療を実践し、「訪問看護ステーションなかつがわ」「居宅介護支援事業所なかつがわ」との連携を強化し、相乗効果による増収計画
- ・病院施設の老朽化に加え水害及び裏山の崩落等危険地域であるため、新病院建設のため移転を視野に入れた計画の策定及び三田記念病院との連携強化による新たな病院体制の検討

【三田記念病院について】

- ・病棟機能再編等により増収対策を計画し、安定した収入確保が可能な体制の構築
- ・中津川病院との連携強化を図り将来的な病院機能の検討
- ・「こころの訪問看護ステーション三田」及び「加賀野の里」との更なる協力体制の強化

(2) 岩手看護専門学校

項目	学校全体
(I) 事業計画総括	<p>事業目標：入学したい、入学させたい学校を目指し、卒業後看護師として採用したいと評価される学生を育てる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 入学生の定員確保に努め学納金の見直しを図る。 ② コロナ対策の徹底と遠隔授業等の円滑な運用に努め学生の学習の権利を保証する。 ③ 看護師国家試験合格者 100%を目指す。 ④ 広報活動計画を策定し、一貫した広報ができるよう努める。 ⑤ ホームページの充実により利用者の利便性を高める。 ⑥ 学生数の減少に伴う収益減少対策を検討する。 ⑦ 学校評価を実施し公表する。 ⑧ 授業評価を実施し公表する。 ⑨ 学校事務と教務事務の効率化のため業務の見直しを行う。 ⑩ 教務システムの円滑な運用により、学生情報の一元管理と業務の効率化を目指す。 ⑪ 災害時における地域の避難施設としての役割を果たすべくマニュアルの作成を行う。 ⑫ 老朽化に伴う校舎及び設備の整備のための中・長期計画を作成する。 ⑬ 入学試験の方法、判定方法の検討をする。

項目	本科（看護師3年課程・全日制）
(I) 事業計画総括	<ol style="list-style-type: none"> ① 新カリキュラム（令和4年度入学生から適応）の2年目を迎えるため、さらなる充実と適切な運用を図る。 ② 学校体験入学の開催やホームページと学校案内の更新等により広報活動に努める。 ③ 入学生確保の取り組み <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護協会や外部業者等主催の進学相談会等へ積極的に参加 2) 中学生・高校生の学校体験受け入れ 3) 各高校主催の進学説明会及び出前授業への参加 ④ 学生教育のため教材・機器・図書の充実を図る。 ⑤ 臨地実習における教育の成果を向上させるため実習施設、実習指導者との連携を図る。 ⑥ 教員のスキルアップのため研修会、学会等に参加できる機会を設ける。 ⑦ 健康診断・心理相談・予防接種等の実施により、学生及び教職員の健康管理に努める。 ⑧ 保護者との連携を強化する。 ⑨ 看護師国家試験対策として模擬試験・学習指導等を行う。
(II) 公益活動及び 地域支援活動	<ol style="list-style-type: none"> ① 「ふれあいランド祭」運営ボランティア（1年生） 令和5年9月3日(日) ② 障がい者スポーツ大会運営ボランティア（3年生） 令和5年6月3日(土) ③ ナイチンゲール祭ボランティア活動 令和5年8月21日(月)

計画	<p>④ 関係団体への教員の派遣協力</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 岩手県看護教員協議会（会長） 2) 日本看護学校協議会（岩手県代表） 3) 岩手県看護協会（ナースセンター事業運営委員） 4) 岩手県看護協会職能集会（シンポジスト） 5) 岩手県看護実習指導者講習会 <p>⑤ 災害時における地域の避難施設として、住民の理解を深め連携を推進する。</p> <p>⑥ 教育実習生の受け入れを行なう。</p>
(Ⅲ) 各種事業予定	<ol style="list-style-type: none"> ① 入学式：令和5年4月5日(水) 4月4日(火)入学前オリエンテーション ② 新入生オリエンテーション 令和5年4月6日(木)～10日(月) ③ 学校見学会・ZOOM進学相談の実施 令和5年7月～8月 ④ 戴帽式 令和5年10月18日(水) ⑤ 第112回看護師国家試験 令和6年2月中旬 ⑥ 文集「砂丘」第64号発行 ⑦ 卒業式：令和6年3月6日(水) ⑧ 令和6年度入学試験 <ol style="list-style-type: none"> 1) 推薦入学試験：令和5年11月11日（土） 2) 社会人入学試験1期：令和5年11月11日（土） 3) 社会人入学試験2期：令和6年2月17日（土） 4) 一般入学試験1期：令和5年12月9日（土） 5) 一般入学試験2期：令和6年1月6日（土） 6) 一般入学試験3期：令和6年2月17日（土） ⑨ 実習指導者連絡打合せ会議（実習地42ヶ所） ⑩ 胸部レントゲン撮影 令和5年4月3日(月) ⑪ 小児抗体価検査（令和5年4月上旬） ⑫ 内科健診（令和5年4月下旬） ⑬ インフルエンザ予防接種 ⑭ 看護教員スキルアップ研修参加 ⑮ 日本看護学校教育学会への参加（福岡 ハイブリット開催） ⑯ 岩手県看護研究学会 3年生参加 令和5年10月28日(土) ⑰ 看護協会及び業者主催の進学セミナー参加（中学生・高校生対象） ⑱ 学校施設見学受け入れ（中学生・高校生対象） ⑲ 保護者会の開催 1年生令和5年4月5日(水)・令和5年10月18日(水)2・3年生 令和5年7月22日(土) ⑳ ICTに対応した教材や図書資料の充実 ㉑ 臨床心理士（非常勤配置）による心理相談の実施(1回/月) ㉒ 全学年を対象とした心理テストの実施 ㉓ 新カリキュラムによる「地域包括支援を理解する実習」を実践するため、地域住民と共同で「長町まつり（仮称）」等の開催と住民による講義を計画する。 令和5年9月

(3) 岩手リハビリテーション学院

項目	学院全体
(I) 事業計画総括	<ul style="list-style-type: none"> ① 指定規則の改正ならびに4年制課程のカリキュラムに対応するため、実習用機器の更新及び新規導入を年次計画に基づき推進し、教育環境を整備する。 ② 学校施設の安全維持管理のため、老朽化した校舎の外壁改修等を年次計画に基づき推進し、施設を整備する。 ③ 学生の学修意欲を高め学力向上を図るための支援を行う。 ④ 入学志願者確保のため、入試選抜方式の検証と広報活動を行う。 ⑤ 教員・臨床実習指導者の質向上を図るための活動を行う。 ⑥ 学校評価（自己評価・学校関係者評価）を行い、教育の質の向上を図る。
(II) 各種事業予定	<ul style="list-style-type: none"> ① 入学式 令和5年4月13日（木） ② 卒業式 令和6年3月5日（火） ③ 学院見学説明会 開催 令和5年6月～11月 外部業者主催の進学説明会への参加 高校訪問の実施 ④ 令和6年度入学試験 <ul style="list-style-type: none"> 総合型選抜入学試験（I・II） 令和5年9月、11月 高校生推薦入学試験 令和5年10月 社会人・一般入学試験（前期・後期） 令和5年12月、令和6年2月 ⑤ 健康診断 令和5年4月～5月 予防接種 B型肝炎（1学年対象）、インフルエンザ（全学年対象） ⑥ 学校評価の実施 令和5年5月

項目	理学療法学科（4年課程）
(I) 事業計画総括	<ul style="list-style-type: none"> ① 学生が就職を意識し、学修の目的意欲を継続できるための教育体制を整え、実施する。 ② 効果的学修の提供を実践するため教員の増員を図る。 ③ 早期から学生の就職意識ならびに学修意欲を高揚させるためのイベントを定期的に開催する。 ④ 学生の学力向上を図るため学生指導や授業内容を検討し、教育内容の充実を図る。 ⑤ 学生教育充実のため教材教具・機器・図書の実充を図り、学修方法の検討を継続する。 ⑥ 学生の自主的学修を進めるため学年間の垣根を取り払った共同学習機会を実施する。 ⑦ 臨床実習教育の充実ならびにカリキュラムを効果的に進めるための実習施設確保と拡大に努める。 ⑧ 臨床実習教育の向上を図るため実習指導者会議や施設訪問を行い、実習施設及び指導者の理解と協力を得られるように努める。 ⑨ 臨床実習指導者講習会を開催し、実習指導者の育成に努める。

	<p>⑩ 学生の臨床対応能力向上に資するイベントをカリキュラムならびに学科事業へ設定する。</p> <p>⑪ 理学療法士国家試験合格者向上に向けた取り組み</p> <p>⑫ 学年間相互の交流ならびに学修意識高揚のためにイベントを実施する。</p> <p>⑬ 入学生確保のため中学校ならびに高等学校への訪問と中・高校生に対する学科の特徴をアピールするとともに、学院見学説明会への参加機会を失った高校生への対応を強化する。</p> <p>⑭ 入試制度を検討し、入学志願者の確保に努める。</p> <p>⑮ 教員の能力向上を図るため研修会や学会への参加機会を設ける。</p>
(II) 各種事業予定	<p>① 学生対象学内生活オリエンテーション（1～4年）令和5年4月</p> <p>② 保護者等対象オリエンテーション（1・3・4年）令和5年4月・10月</p> <p>③ 施設団体見学（1年）令和5年6月</p> <p>④ 臨床実習 臨地実習（1年）令和5年9月25日（月）～9月30日（土） 地域理学療法導入実習（2年） 令和5年10月16日（月）～10月21日（土） 評価実習（3年）令和5年11月6日（月）～12月2日（土） 総合実習（4年）令和5年5月8日（月）～7月1日（土） 令和5年8月1日（火）～9月29日（金） 地域理学療法実践実習（4年） 令和5年10月30日（月）～11月2日（木）</p> <p>⑤ 実習指導者会議 臨地実習（1年）・地域理学療法導入実習（2年）・評価実習（3年） 令和5年8月 総合実習（4年）令和6年3月</p> <p>⑥ 臨床実習指導者研修会の開催 令和5年8月・令和6年3月</p> <p>⑦ 臨床実習指導者講習会 令和5年8月</p> <p>⑧ 第59回理学療法士国家試験に向けた取り組み</p> <p>⑨ 就職啓発イベント（1年～4年）令和5年5月・7月・10月・11月・令和6年2月・3月</p> <p>⑩ 就職説明会 令和5年7月・10月</p> <p>⑪ 学年間交流 令和5年12月・令和6年2月・3月</p> <p>⑫ 学科説明会 令和5年8月・令和6年3月</p> <p>⑬ 見学強化期間 令和5年8月</p> <p>⑭ 障がい者スポーツ大会参加 令和5年10月</p>

項目	作業療法学科（4年課程）
(I) 事業計画総括	<p>① 入学生確保への取り組み</p> <p>1) 広報活動の充実 学院見学説明会・学科の特性を活かしたパンフレットの作成</p> <p>2) 直接・対面による学生広報活動の実施 高校訪問・進学相談会などに参加</p>

	<p>② 学内学生教育の充実</p> <p>1) 主体的な学修姿勢を培う体制の整備 演習・実習、アクティブラーニングの視点を持ったカリキュラム</p> <p>2) ルーブリック視点の導入 学生と教員とが成果・到達度の確認が取れる取組みを図る。</p> <p>3) 教材教具・機器・図書の実をを図る。</p> <p>③ 臨床実習施設の確保と充実</p> <p>1) 実習指導者会議を通しての情報交換</p> <p>2) 施設訪問を通して実習施設との信頼関係の構築</p> <p>④ 国家試験支援体制</p> <p>1) 国家試験合格者向上に向けての指導体制の強化</p> <p>2) 国家試験出題問題の分析と学生への指導</p> <p>⑤ 学生就職活動支援</p> <p>1) 就職活動促進ため、求人情報の収集に努める。</p> <p>2) 学生への就職相談・情報提供を行う。</p> <p>⑥ 学生・保護者等相談支援</p> <p>1) 心身の健康維持に配慮し、担任制および相談窓口の開示を通して支援に努める。</p> <p>2) 保護者等に対して定期的な面談案内、保護者説明会を通して相談支援に努める。</p> <p>⑦ 教員教育諸活動支援の充実</p> <p>1) 研修会や学会への参加支援を通して質的な向上を図る。</p> <p>2) 教員の増員を図る。</p> <p>(目的)</p> <p>(a) 4年制カリキュラムの「学修」に向け、教員組織の充実を図るため</p> <p>(b) 学生の学力格差是正に向け、よりきめ細やかな指導を行うため</p>
<p>(II) 各種事業予定</p>	<p>① 学生対象学内生活オリエンテーション 令和5年4月</p> <p>② 保護者等対象オリエンテーション (学年ごとに実施)</p> <p>1年生 令和5年4月</p> <p>2年生 令和5年6月</p> <p>3年生 令和5年6月</p> <p>4年生 令和6年3月</p> <p>③ 臨床実習 見学実習 令和5年9月20日(水)～9月26日(火)</p> <p>地域作業療法学実習 令和5年5月15日(月)～5月19日(金)</p> <p>総合実習1期 令和5年5月8日(月)～6月30日(金)</p> <p>総合実習2期 令和5年7月26日(水)～9月21日(木)</p> <p>短期実習Ⅰ 令和5年9月4日(月)～9月15日(金)</p> <p>短期実習Ⅱ 令和5年10月5日(木)～10月26日(木)</p> <p>④ 実習指導者会議 地域作業療法学実習・短期実習Ⅰ 令和5年7月</p> <p>短期実習Ⅱ 令和5年9月</p> <p>総合実習 令和5年4月</p>

- ⑤ 臨床実習指導者研修会の補助（3回実施予定）
- ⑥ 就職説明会 3年対象 令和5年7月・10月（2回実施予定）
- ⑦ 卒業生と在校生懇談会
 - 卒業生参加 1年生 令和5年5月
 - 2年生 令和5年8月
 - 3年生 令和5年9月
- ⑧ 高校生・社会人対象 作業療法学科入学相談会・説明会
 - 第1回 令和5年9月
 - 第2回 令和5年10月
 - 第3回 令和5年11月
- ⑨ 学科 FD 会議の充実
 - 月1回開催予定（合計12回）
- ⑩ 地域研究・支援事業
 - 地域支援（長田町）
- ⑪ 作業療法普及啓発活動（小学生対象 認知症サポーター講座参画）
 - 地域包括支援センター活動協力
 - 青山地域包括支援センター
 - 盛岡西口包括支援センター

(4) 中津川病院

<p>(I) 事業計画総括</p>	<p>① 令和4年度は、長びくコロナ禍の影響で入院・外来・訪問診療においても診療体制を計画どおり維持することができなかった。 令和5年度は、コロナの感染症法上の分類が変更され制限が緩和されることから、病院運営を軌道に乗せ、急性期病院からの受入病院としての信頼を得ている状況を更に強化・継続し、年間を通して1日平均37~39人の入院患者確保に全力を尽くす。また、地域包括ケア病床を活用して、直接入院及び在宅への復帰率を増やして在宅患者を増やし、訪問診療・訪問リハビリの増に繋げる。さらに居宅介護支援事業所なかつがわや訪問看護ステーションなかつがわとの連携強化に努め、相乗効果による増収を図る。</p> <p>② (福) 岩手和敬会及び近隣の社会福祉施設や医療機関との良好な関係を強め、新たな連携機関を開拓し患者数の増加に努める。</p> <p>③ 地域の施設・病院・診療所等の理解を得るための取り組みを強化する。</p> <p>④ 公益活動として看護学生の実習及び中学生の職場体験、高校生等のふれあい看護体験の受入を継続する。</p> <p>⑤ 盛岡市の特定建築物定期調査で指摘された建物や設備について、昨年度に引続き2年間の是正計画書に基づき改修に取り組む。</p> <p>⑥ 現在の建物は、老朽化はもとより水害や裏山の崩落等危険地域に位置しているため移転を視野に今後の在り方について検討を行う。</p>																		
<p>(II) 医療収入事業計画</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1日平均患者数</th> <th>1日平均単価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 入院</td> <td>39人</td> <td>29,862円</td> </tr> <tr> <td>② 外来</td> <td>24人</td> <td>5,087円</td> </tr> <tr> <td>③ 在宅</td> <td>1日件数(月件数)</td> <td>1件平均単価</td> </tr> <tr> <td>訪問診療</td> <td>17件(345件)</td> <td>29,179円</td> </tr> <tr> <td>訪問リハビリ</td> <td>23件(466件)</td> <td>2,898円</td> </tr> </tbody> </table>		1日平均患者数	1日平均単価	① 入院	39人	29,862円	② 外来	24人	5,087円	③ 在宅	1日件数(月件数)	1件平均単価	訪問診療	17件(345件)	29,179円	訪問リハビリ	23件(466件)	2,898円
	1日平均患者数	1日平均単価																	
① 入院	39人	29,862円																	
② 外来	24人	5,087円																	
③ 在宅	1日件数(月件数)	1件平均単価																	
訪問診療	17件(345件)	29,179円																	
訪問リハビリ	23件(466件)	2,898円																	

(5) 訪問看護ステーションなかつがわ

<p>(I) 事業計画総括</p>	<p>① 地域の居宅、包括、施設及び開業医等からの依頼を得て地域での役割を果たす。さらに中津川病院や居宅支援事業所なかつがわとの協働により、在宅復帰の促進、退院支援の推進により、利用者数を確保する。</p> <p>② 地域との連携のため、地域ケア会議など地域での役割遂行から、訪問看護ステーションの周知と紹介利用者の増加につなげる。</p> <p>③ 公益活動として看護学生の在宅実習や看護協会事業等の受け入れを行う。</p> <p>④ BCPの作成により、安全に事業が継続できる体制を構築する。</p> <p>⑤ ICT化による業務効率を向上し、質の高い医療の提供とサービス向上に努める。</p>						
<p>(II) 医療収入事業計画</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1日平均件数(月件数)</th> <th>1日平均単価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問看護</td> <td>24.5件(496件)</td> <td>8,070円</td> </tr> </tbody> </table>		1日平均件数(月件数)	1日平均単価	訪問看護	24.5件(496件)	8,070円
	1日平均件数(月件数)	1日平均単価					
訪問看護	24.5件(496件)	8,070円					

(6) 居宅介護支援事業所なかつがわ

<p>(I) 事業計画総括</p>	<p>① 介護支援専門員（ケアマネージャー）1名体制でケアマネージャーのいない利用者の要介護認定申請等の業務を継続する。</p> <p>② 中津川病院の入院患者が退院後在宅の要介護や要支援等適切な居宅サービス又は施設サービスを利用できるよう、地域医療連携室や訪問看護ステーションなかつがわとの連携を強化する。</p> <p>③ 地域との連携及び利用者の理解を得るため、直接訪問または広報活動等での取り組みを強化し、居宅介護支援事業所なかつがわの周知と紹介患者増に繋げる。</p> <p>④ 要支援認定者における地域包括支援センターからの委託契約依頼に対応する。</p> <p>⑤ 盛岡市からの認定調査依頼に対し積極的に対応する。</p> <p>⑥ ICT 機器を活用し業務の効率化を図る。</p>									
<p>(II) 医療収入事業 計画</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1月平均人数</th> <th>1人平均単価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護保険利用者</td> <td>35人</td> <td>12,872円</td> </tr> <tr> <td>その他、介護予防利用者</td> <td>7人</td> <td>3,942円</td> </tr> </tbody> </table>		1月平均人数	1人平均単価	介護保険利用者	35人	12,872円	その他、介護予防利用者	7人	3,942円
	1月平均人数	1人平均単価								
介護保険利用者	35人	12,872円								
その他、介護予防利用者	7人	3,942円								

(7) 三田記念病院

<p>(I) 事業計画総括</p>	<p>① 病棟再編による体制の見直し</p> <p>コロナのクラスター発生などにより、入院患者数が大きく減少していることから、地域移行機能強化病棟の導入や療養病棟の活用など病棟の再編による増収対策を計画し、安定した病院収入を確保できる体制を構築する。</p> <p>また、こころの訪問看護ステーション三田との協働について更に協力体制を深め、地域医療連携と退院支援の推進により、各医療機関や福祉施設等との関係強化を図り、新規患者の開拓とデイケアへの誘導を積極的に行い増患に努める。</p> <p>② コロナへの対応</p> <p>国の方針としてコロナは感染症法上の分類が令和5年5月に2類から5類に引き下げられる予定であり、それに伴う様々な施策の変化（ワクチン接種、行動制限の緩和等）に柔軟に対応しつつ、患者・職員を守るため、基本的な感染対策を維持しながら、院内の環境整備を継続して行う。</p> <p>③ 職員が働きやすい環境の整備</p> <p>昨年導入した電子カルテの安定稼働や働き方改革関連法への対応により、医師や看護師等が本来の専門的業務に専念でき、職員が安心・安全に働けるよう職場環境の整備を行う。</p> <p>④ 中津川病院との連携強化を図り将来的な病院体制の検討・協議に着手精神科単科病院の当院と一般科病院の中津川病院がより一層の連携・協力を行いながら両病院の運営強化を図り、岩手済生医会の将来的な病院体制について検討・協議を開始する。</p>
-----------------------	--

(II) 医療収入事業 計画		1日平均患者数	1日平均単価
	① 入院	244人	17,300円
	② 外来	87人	6,900円
	③ その他 デイケア	28件 (月平均560件)	7,000円

(8) こころの訪問看護ステーション三田

(I) 事業計画総括	<p>① 収入の安定化 三田記念病院をはじめ関係機関との連携を密に行い、新規利用者の増加に努めるとともに収入の安定を図る。</p> <p>② 診療報酬に係る規程の立案、整備 令和3～4年度診療報酬改定に伴い、感染症や災害の発生時において訪問看護の提供を継続的に実施するためのBCP（業務継続計画）の策定、感染症対策の強化に伴う指針の整備、高齢者虐待防止の推進に伴う研修等の義務化から、規程の立案を行う（令和6年度から義務化）。 令和6年5月から訪問看護レセプトのオンライン請求が原則化されるため、システム対応について確認、必要な機器等の準備を行う。</p> <p>③ 職員が働きやすい環境の整備・人材の確保 在宅ワークを導入することで業務の効率化や見直しを図り、職員が長く安定して働けるよう職場環境を整備する。また事業運営の安定化を図るため、ハローワーク、職能団体等を活用した職員募集や三田記念病院と協働し看護師等の人材確保に努める。</p> <p>④ 訪問看護の質の向上 業務の効率化を推進し、訪問看護の質の向上に資するとともに、地域医療機関・福祉機関との連携のもと、心身の状態やニーズに応じた訪問看護の提供に努める。</p>		
(II) 医療収入事業 計画	1日平均件数 (月平均件数)	1件平均単価	
	訪問看護	29.8件 (603件)	16,000円

(9) 加賀野の里

(I) 事業計画総括	<p>① 入居者定員数の恒常的確保に努め、収入の安定を図る。</p> <p>② 利用者の意思及び人格の尊重、権利擁護、虐待防止に留意しながら、適切な外部サービス利用型指定共同生活援助の提供をする。</p> <p>③ 高齢かつ介護を必要とする利用者の、介護施設等への移行を推進する。</p> <p>④ 利用者の余暇の楽しみのため、行事に工夫を凝らした企画を実行する。</p> <p>⑤ 協力医療機関として三田記念病院（精神科）の他に、中津川病院（内科）を加え利用者の急変対応の充実を図る。</p> <p>⑥ 感染対策委員会の設置を行い、「感染症の発生およびまん延の防止等に関する取り組み（感染症発生時業務継続計画・指針、訓練、研修プログラム）」を作成する。また、感染対策マニュアル更新、日常の感染対策に継続して取り組</p>		
---------------	---	--	--

	<p>む。</p> <p>⑦ BCP（災害発生時業務継続計画）を作成する。（⑥、⑦については令和6年度中の整備が義務化）</p> <p>⑧ 光熱水費および食材費の高騰に伴い、利用料の見直しを行う。</p>
<p>（Ⅱ） 各種事業予定</p>	<p>① 委員会、会議等 運営委員会（2か月に1回）、感染対策委員会（新設 年3回） 虐待防止委員会（年1回以上）、身体拘束適正化委員会（年1回以上）</p> <p>② 職員研修会等 （内部）職員虐待防止・身体拘束適正化・感染対策対応 （外部）虐待防止・苦情解決・世話人研修・障がい者相談支援従事者初任研修・サービス管理責任者等基礎研修</p> <p>③ 行事 遠足・クリスマス会・小物作り・誕生日リクエストメニュー</p> <p>④ その他 コロナ発生時対応訓練（年1回） 避難訓練（年2回） 家族へお便り（年2回） 入居者アンケート（年1回）</p>